

◆竹園集会所【平成30年4月18日(水) 参加者数16人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
1	松浜公園にて100人前後でラジオ体操をしているが、全員が聞こえる音量をカセットデッキで出そうとすると、電池の消耗が激しい。20分だけでも、公園のトイレの電源を利用できないか。	一定の整理が必要なので、検討します。 →公園管理上、当該活動は有益であると判断し、電源をご使用いただくこととしました。
2	外出中に津波や地震が来た場合、そばにある高いマンションに「用のない方は入らないください」と書いてあっても入っていいのか。	津波が来るときには、できるだけ高く、津波から遠い場所へ逃げるのが原則です。避難用としてご協力いただいているマンションも多いので、地域の皆さまと一緒に避難してください。
3	運動は長生きに関係すると思われるので、毎月広報紙等でウォーキングするよう啓発してはどうか。	市でもウォーキングマップを作成し、距離に応じたコースを紹介していますので、これをより周知するように努めます。各小学校区ごとのコミスクにはスポーツクラブ21がありますので、外での運動を推奨していきます。
4	竹園集会所の前にイチョウの木があり、車いすが歩道を通るのが難しい。昨年から市へ撤去をお願いしているが、動きがないのはなぜか。	以前、地域の方のご意見を伺ったところ、「残してほしい」というお声のほうが多かったことが理由です。自治会から皆さまにアンケート調査を行うと聞いていたので確認します。 →地域の方のご意見がまとまった上で、市にご相談いただければ、伐採も検討します。
5	個人が所有する井戸を公益の井戸として登録する制度があるが、何件登録されているのか。また、昔からある手汲みの井戸ではなく、ポンプ式の井戸でも申請は必要か。	現在は0件ですが、民間にもご協力いただけるよう取り組みます。ポンプ式の井戸でも申請をお願いしています。
6	阪急バスの「テニスコート前」バス停には屋根や椅子がなく、高齢者が困っている。阪急バスへ設置を要請してほしい。	阪急バスに伝えます。 →当該箇所の屋根とベンチの設置を阪急バスに要望しました。

◆竹園集会所【平成30年4月18日(水) 参加者数16人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
7	西宮市とのごみ処理施設の広域化について、互いの市にプラスになるということだが、具体的に説明してほしい。ごみの収集方法が変わるなど、市民にとって不便にならないのか。	例えば西宮市のごみ処理施設で芦屋市の全てのごみを焼却できるなら、西宮市にごみを運び、代わりに経費を支払えば両市ともにメリットがあると言えます。両市ともごみ処理施設の更新時期を迎えています。各市で建て直すのではなく1か所にまとめ、より効率的なごみ処理方法を検討しています。また、サーマルリサイクルについても検討しています。市民の皆さまにとって不便にならないよう、収集方法や分別方法の違いについては、事前に市民の皆さまのご意見もいただいた上で、統一化に向けた協議を行います。 →なお、「西宮市・芦屋市ごみ処理広域化検討会議」の内容については、ホームページに掲載しています。
8	公立幼稚園と保育所の統廃合計画をなぜ早急に進めるのか。ゆっくり住民の合意を得て進めてほしい。	待機児童は待ったなしの状況となっており、「市立幼稚園・保育所のあり方」は、子育てしやすいまちにするための最善のプランであると考えています。
9	旧宮塚町住宅について、女性活躍推進事業以外に利用目的はあるのか。またオープン時期はいつか。	地域の多世代交流スペースとして、開かれたオフィスのような役割を考えています。ワークショップにより構想を決めたいと考えているので、皆さまのご参加をお願いします。今年の秋頃に工事をを行い、4月にオープン予定です。
10	阪神電鉄の高架化は予算化されたのか。また、コンクリートむき出しの高架では景観が損なわれるが、全市が景観地区になっている芦屋市としてはどのように配慮するのか。	予算化には至っておらず金額も未知数ですが、将来的な高架化等の検討を行うという意思表示を今年度に行いました。景観については、どのような形が一番よいかを検討します。
11	「芦屋市防災マップ」の津波一時避難施設に市役所本庁舎東館が加えられありがたいが、高齢者が避難するにあたり、外部階段の手すりが片側だけでは不安なため、もう一方にも設置してほしい。	→平成31年度に、避難器具使用時も想定した階段幅を確保できるよう手すりを増設予定です。
12	災害時の水平避難ルートをより確保するため、徒歩での横断が可能な通路を国道43号線に追加してほしい。	→国道43号を横断する交差点は市内に4か所あるため、分散した避難が可能です。